

XL シリーズ

セーフティガイド

ページプリンタ XL-8400

本書中の注意表示について

このガイド及び本製品への表示では、本製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



警告：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



「注意一般」、



「高温注意」、



「接触注意」

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。



「禁止一般」、



「分解禁止」、



「火中への投入禁止」

●記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。



「強制一般」、



「電源プラグをコンセントから抜け」、



「必ずアース線を接続せよ」

本製品使用時の汚れなどによって本書の注意・警告事項が判読できない場合や本書を紛失した場合には、富士通製品情報ページ (<https://jp.fujitsu.com/platform/pc/product/peripheral/printer/support/manual/>) で公開していますのでご確認ください。



機械を設置するときのご注意

設置環境について

電源・電源周波数	AC100V ± 10% (最小 90V、最大 110V)、50 / 60Hz ± 2% 矩形波が出力される電源機器には接続しないでください。故障する場合があります。
定格電流	11.5A
使用環境条件	<p>温度：10 ～ 32.5 °C 湿度：10 ～ 80%RH(推奨用紙使用時) 温度 32.5 °C のときは湿度 70%RH 以下、湿度 80%RH 前後のときは、温度 30 °C 以下で使用してください (ただし、結露しないこと)。また、その他の用紙については、上記使用温湿度環境で使用されていても、用紙の特性により、十分にプリンタの性能を発揮できない場合があります。冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。室温になじませてから使用してください。</p>



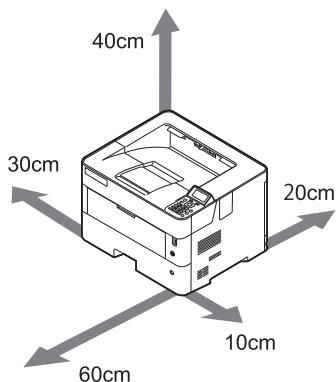
注意



- 本製品をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 本製品を湿気やほこりの多い場所に置かないでください。万一電源プラグにほこりやゴミなどが付着している場合は取り除いてください。火災、感電の原因となることがあります。
- 本製品をストーブなどの熱源や可燃物が近くにある場所に置かないでください。火災の原因となることがあります。



- 発生するオゾンレベルを安全値にキープするために、換気された部屋でご使用ください。
- 本製品の冷却効果を保つため、機械の周辺はスペースを確保してください。特に機械左右側面には通風孔があるため、壁などに近づけないでください。十分なスペースがないと冷却されず、発熱や性能不良の原因となります。



設置電源・アースについて

火災や感電、漏電の原因になることもあるため以下をお守りください。

警告



- 製品に使用する電源コードは、必ず製品添付の電源コードをご使用ください。電源コードは対象製品専用です。他の機器には使用しないでください。
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線や、延長コードの使用はしないでください。火災、感電のおそれがあります。接続が困難な場合はお問い合わせ窓口にご相談ください。



- ガス管や電話専用アース線、避雷針、水道管や蛇口にはアース接続しないでください。
- 電源プラグは単独かつ、ぐらつきのないコンセントに差し込んでください。
- 電源プラグ及び電源コネクタはコンセント及び製品の差込口に奥まで確実に差し込んでください。
- 製品に使用する電源コードは、通路にはみ出さないように設置接続してください。



- 必ずアース線をアース対象物に接続してください。アース接続がされないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アース接続ができない場合は、お問い合わせ窓口にご相談ください。
- アース接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行って下さい。



- 電源プラグの刃に金属などが触れたり、ほこりが溜まると火災、感電の原因となります。また、不完全な接続は接続部が発熱し発火する危険があります。

注意



- 電源プラグは製品の近くの容易に接続できるコンセントにつないでください。
- 電源コードは、主電源切断装置として使用します。コンセントは機器の近くに設置し、すぐに使えるようにしておいてください。

ビニールの取り扱いについて

警告



- 本製品に使っている包装用のビニールを子供に触れさせないでください。ビニールが鼻や口に吸着すると、窒息するおそれがあります。



取り扱い上のご注意

機械の取り扱いについて



警告



- 機械の近くまたは内部で可燃性のスプレーや引火性溶剤などを使用しないでください。引火による火災や感電の原因になります。
- 本製品の上に花瓶、植木鉢、コップや水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電のおそれがあります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また物をのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。



- 本製品のカバーは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。
- 本製品の修理、改造、分解は絶対に行わないでください。けが、火災、感電、レーザー光線による被ばく、レーザー光漏れによる失明などのおそれがあります。



- 万一、発熱していたり、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに主電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そしてお問い合わせ窓口にご連絡ください。
- 万一、異物（金属片、水、液体）が本製品の内部に入った場合は、まず本体の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お問い合わせ窓口にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。



- 電源コードが傷んでいたり芯線の露出、断線がある場合は、そのまま使用せずお問い合わせ窓口にご相談ください。
- 電源コードをコンセントから抜き定期的に点検し以下の場合は、そのまま使用せずお問い合わせ窓口にご相談ください。
 - 電源コードが傷んでいる、電源プラグに変形や、焦げ跡がある。
 - 製品に通電している際に電源コードを曲げると、製品の電源が切れる場合がある。
 - 製品に通電している際に電源コードの一部が熱くなる場合がある。
- 内部の点検・修理はお問い合わせ窓口にご依頼してください。

注意



- 製品の電源スイッチを入れたままで電源プラグの抜き差しはしないでください。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります（必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください）。



- 本製品を持ち上げたり、動かす場合は、所定の箇所を持つようにしてください。
- 本製品内部の清掃については、ハードウェアガイド 10 章「こんなときには」の「日常のお手入れ」をご覧ください。本製品の内部にほこりがたまったら長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。



- 本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 夜間等で長時間本製品をご使用にならない場合は、主電源スイッチを切ってください。また連休等で長期間、本製品を使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本製品の清掃を行うときには安全上、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

トナーの取り扱いについて

警告



- トナーカートリッジおよび廃棄トナーボックスは、火中に投げないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。
- トナーの入った容器およびユニットは、無理に開けたり、壊したりしないでください。



- トナーカートリッジおよび廃棄トナーボックスは、子供の手に触れることのないように保管してください。

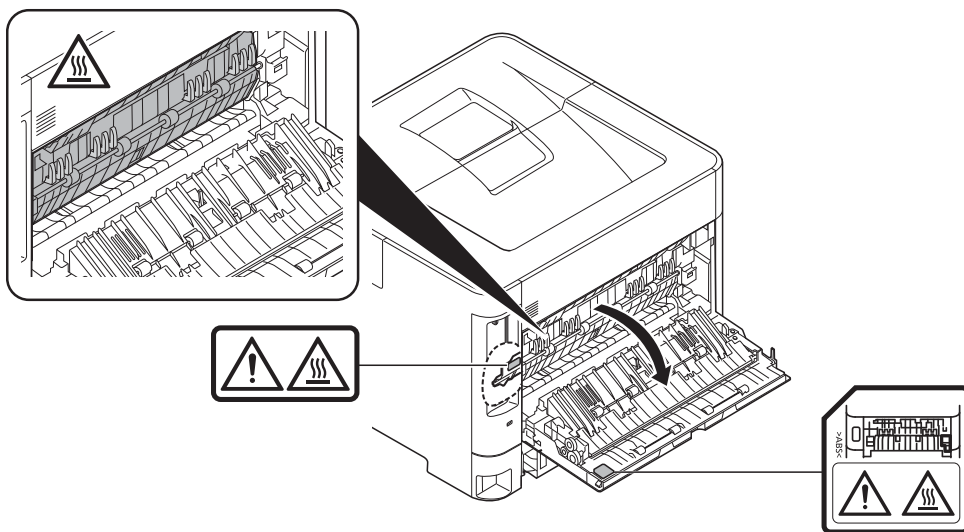


- トナーカートリッジおよび廃棄トナーボックスよりトナーが漏れた場合は、トナーを吸い込んだり、口に入れたり、眼、皮膚に触れないようにしてください。
- トナーを吸い込んだ場合は、新鮮な空気のある場所に移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
- 咳などの症状が出るようであれば、医師の診察を受けてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、口の中をすすぎ、コップ 1、2 杯の水を飲んで胃の中を薄め、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 眼に入った場合は、直ちに流水で良く洗い、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。
- 皮膚に触れた場合は、石鹸を使って水でよく洗い流してください。

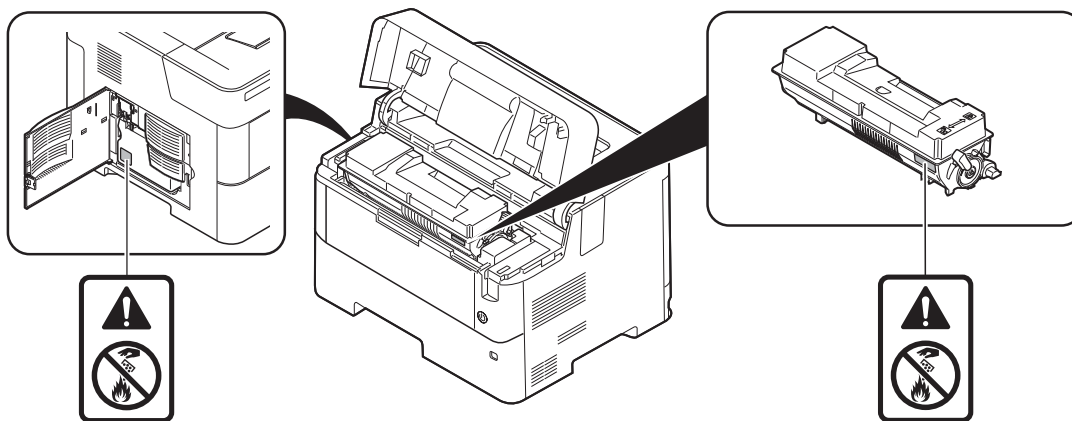
警告ラベル / 注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。指示内容をご覧になり、安全にご利用ください。なお、警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

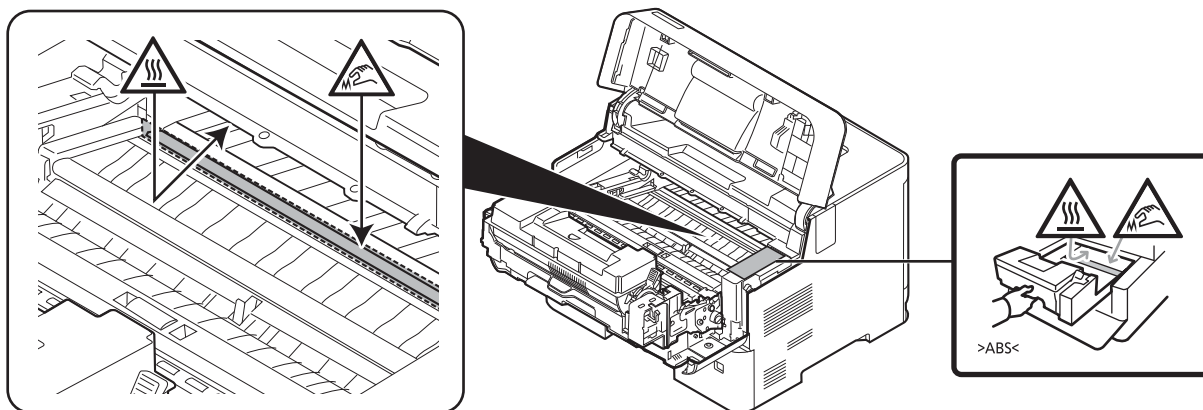
- この部分の内部は高温になっています。火傷のおそれがありますので、触れないようにしてください。



- トナーカートリッジおよび廃棄トナーボックスは、火中に投げないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。



- 鋭利なエッジには触れないでください。指などがをさるおそれがあります。



その他の注意事項



- 本製品の上に重いものをのせたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 印刷中は次のことをしないでください。
 - カバーを開ける。
 - 主電源スイッチを切る。
 - 電源コードを抜く。
- コネクタ、プリント基板などの電気部品に触らないでください。静電気により破損する可能性があります。
- 各マニュアルに記載されていないことは行わないでください。



- ランプ光を見つめないでください。目の疲れや痛みの原因となるおそれがあります。
- 使用済みのトナーカートリッジや廃棄トナーボックスを処分するときは、当社の回収サービスをご利用ください。
- 直射日光を避けて保管してください。
- 急激な温度・湿度変化を避け、40℃以下で保管してください。
- 本製品を長時間使わない場合は、カセットまたは手差しトレイから用紙を取り出し、もとの包装紙に戻して密封してください。

JIS C 61000-3-2 適合品
本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」
に適合しています。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B



ご利用にあたってのお願い

万一、機械が発熱していたり、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態を確認した場合は、速やかにお問い合わせ窓口ご連絡し、機械内部の点検・修理を依頼してください。

故障時は下記にご連絡ください。

- お問い合わせ窓口

保守運用支援サービス「SupportDesk」をご契約のお客様は専用の窓口にて、未契約のお客様は「富士通ハードウェア修理相談センター」にご連絡ください。

「富士通ハードウェア修理相談センター」

<https://eservice.fujitsu.com/webrepair/>

「修理ご相談フォーム」よりお問い合わせください。

本製品の使用に関する技術的なご相談などにつきましては、製品のご購入元、または富士通の担当営業／SE にお問い合わせください。

なお、保守運用支援サービス「SupportDesk」をご契約のお客様は、ご契約のお客様専用の電話やホームページなどで製品に関するご質問を受け付けております。

使用済みトナーカートリッジおよび廃棄トナーボックスの回収サービス

富士通グループでは大切な資源を上手に使う循環型社会の実現を目指し、使用済みトナーカートリッジおよび廃棄トナーボックスを無償で回収しております。回収した使用済みトナーカートリッジおよび廃棄トナーボックスは大切な資源として、最終的に部材の再使用や再資源化を行っております。使用済みトナーカートリッジおよび廃棄トナーボックスの回収連絡は、次の「エコ受付センター」までご連絡ください。

- エコ受付センター

通話料無料：0120-300-693

受付時間：月曜日～金曜日 8:40～12:00 および 13:00～17:30

(土・日曜日・祝日・当社指定の休日を除く)

- プリンタ消耗品無償回収サービス

<https://www.fujitsu.com/jp/group/coworco/solutions/eco/recovery/>

ご協力をお願いいたします。



安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名、化学品の名称 : LB323 シリーズ トナー (ブラック)

会社名 : 富士通株式会社

問合せ先

会社名 : 富士通コワーコ株式会社

住所 : 〒 211-0041 神奈川県川崎市中原区下小田中 2-12-5

担当部門 : 営業推進統括部 技術部

電話番号 : 0120-505-279

整理番号 : TR23-M006 (全 6 頁)

作成・改定 : 2023.08.02

2. 危険有害性の要約

製品の危険有害性分類

GHS 分類

物理化学的危険性		: 区分に該当しない
健康有害性	急性毒性 (経口)	: 区分に該当しない
	急性毒性 (経皮)	: 区分に該当しない
	急性毒性 (吸入: 粉塵)	: 区分に該当しない
	皮膚腐食性・皮膚刺激性	: 区分に該当しない
	眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	: 区分に該当しない
	呼吸器感作性	: 分類できない
	皮膚感作性	: 区分に該当しない
	生殖細胞変異原性	: 分類できない
	発がん性	: 分類できない
	生殖毒性	: 分類できない
	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 分類できない
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 分類できない
環境有害性		: 区分に該当しない

GHS ラベル要素

: 該当なし

他の危険有害性

(健康への影響と徴候の情報は項 4、項 11 を参照。粉塵爆発の情報は項 9 を参照)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名または一般名	含有量 (重量%)	CAS 番号	官報公示整理番号 (化審法 / 安衛法)
スチレン-アクリル樹脂 (2 種類)	50-60	非開示	非開示
酸化鉄 (マグネタイト)	40-50	非開示	1-357
ワックス	1-5	非開示	非開示
酸化チタン (IV)	< 1	13463-67-7	1-558
アモルファスシリカ	< 1	7631-86-9	1-548
無機スズ化合物	< 1	非開示	非開示

(ばく露限界の情報は項 8 を参照。健康有害性成分の情報は項 11 を参照)

4. 応急措置

必要な応急措置

- 吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所へ移動させ、多量の水でよくうがいをする。
咳などの症状が出る場合には、医師の診察を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 石鹸を使って水でよく洗い流す。
- 眼に入った場合 : 直ちに流水でよく洗う。刺激が残る場合には、医師の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 口の中をよくすすぎ、コップ1、2杯の水を飲ませる。
必要に応じて医師の診断を受ける。

急性症状及び遅発症状の最も重要な徴候症状

潜在的健康影響

- 吸入 : 過剰な粉塵を長期間吸入すると、呼吸器に刺激を起こすかもしれない。
ただし、通常の使用においては過剰な粉塵を吸入することはない。
- 皮膚接触 : おそらく刺激はない。
- 眼接触 : 一時的でわずかな刺激を起こすことがある。
- 経口 : 通常の使用においては、口から摂取することはない。

医師に対する特別な注意事項

- : 特になし。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水（噴霧水）、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし
- 特有の危険有害性
- 有害燃焼副産物 : 二酸化炭素、一酸化炭素
- 特有の消火方法 : 粉末のため、吹き飛ばさないように注意すること。
周囲に放水し、温度を下げるように消火すること。
- 消火を行う者の保護 : 必要に応じて適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- : 漏れた場合には、粉塵を吸入したり、口に入れたり、眼、皮膚に触れないようにすること。
粉塵の生成を避ける。十分な換気をする。

環境に対する注意事項

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 除去方法 : できるだけ粉末を飛散させないようにかき集め、濡れ雑巾などで拭き取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 通常の手扱いは必要としない。
- 安全取扱注意事項 : トナーの入った容器及びユニットは、無理に開けたり、壊したりしないこと。

保管

- 技術的対策 : 通常の手扱いは必要としない。
- 保管条件 : トナーの入った容器及びユニットは密閉し、火気のある場所を避け、冷暗所に保管すること。
子どもの手が届かないようにすること。
- 容器包装材料 : 他の容器包装へ移し替えないこと。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度（参考値）

US ACGIH TLV(TWA)

粒子性物質 : 10mg/m³（総粉塵）、3mg/m³（吸入性粉塵）
酸化チタン : 10mg/m³

US OSHA PEL(TWA)

粒子性物質 : 15mg/m³（総粉塵）、5mg/m³（吸入性粉塵）
酸化チタン : 15mg/m³（総粉塵）

日本産業衛生学会 許容濃度

第3種粉塵 : 8mg/m³（総粉塵）、2mg/m³（吸入性粉塵）（その他の無機および有機粉塵）
第2種粉塵 : 4mg/m³（総粉塵）、1mg/m³（吸入性粉塵）（酸化鉄（マグネタイト）、酸化チタン）

労働安全衛生法 管理濃度 : 該当しない

機器使用時の総粉塵濃度は1mg/m³以下であり(*4)、上記の許容濃度及び管理濃度に到達しない。

設備対策 : 通常の使用においては、特別な換気設備は必要としない。
換気が十分な場所を使用する。

保護具 : 通常の使用においては、呼吸器、眼、手、皮膚及び身体の保護具は必要としない。

9. 物理的及び科学的性質

外観

物理的状态	: 固体
形状	: 粉末
色	: ブラック
臭い	: 殆ど臭いなし
融点、凝固点	: 140℃（トナー）
沸点、初留点及び沸騰範囲	: データなし
可燃性	: データなし
燃焼または爆発範囲の上限/下限	: データなし
引火点	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: データなし
粘度	: データなし
溶解性	: 水に対して殆ど不溶
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度	: 1.5 - 2.0 g/cm ³ （トナー）
蒸気密度	: データなし
蒸発速度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし
その他情報	
爆発特性	: 通常の使用条件下においては、粉塵爆発の可能性は極めて低い。 ただし、粉塵爆発試験を実施した場合、圧力上昇速度から算出したトナーの爆発クラスは、小麦粉、粉ミルク、樹脂粉末等と同一ランクに分類される。(*5)

10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学性安定性	: 通常の取り扱い条件下においては安定
危険有害反応可能性	: 危険有害反応は起こさない
避けるべき条件	: 情報なし
混触危険物質	: 情報なし
危険有害な分解生成物	: 危険な分解生成物は生成されない

11. 有害性情報

製品の有害性情報

急性毒性

経口 (LD50)	: > 2500mg/kg (ラット) (類似製品の試験結果に基づく) (トナー)
経皮 (LD50)	: > 2000mg/kg (ラット) (類似製品の試験結果に基づく) (トナー)
吸入 (LC50 (4hr))	: > 5.13mg/l (ラット) (類似製品の試験結果に基づく) (トナー)

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

皮膚一次刺激性	: 刺激性なし (ウサギ) (類似製品の試験結果に基づく) (トナー)
---------	--

眼に対する重篤な損傷または眼刺激性

眼一次刺激性	: 軽度な刺激性あり (ウサギ) (Mild irritant) (類似製品の試験結果に基づく) (トナー)
--------	---

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性	: 感作性なし (マウス) (類似製品の試験結果に基づく) (トナー)
-------	--

生殖細胞変異原性

: 微生物を用いる変異原性試験 (Ames 試験) にて陰性を示す (トナー)

成分に関する情報

: 変異原性物質 (MAK, TRGS905, CLP Annex VI に記載の変異原性を有する物質) を含まない

発がん性

成分に関する情報 : 発がん性物質 (IARC, 日本産業衛生学会, ACGIH, EPA, OSHA, NTP, MAK, California Proposition 65, TRGS 905, CLP Annex VI に記載の発がん性を有する物質) を含まない

(二酸化チタンを除く)

二酸化チタンは、IARC の発がん性分類でグループ 2 B [ヒトに対して発がん性の可能性がある] に分類される。ラットを使用した吸入暴露試験において分類されたが、経口、経皮試験では、発がん性は認められていない。(*2)
二酸化チタンに対する動物の慢性吸入試験では、ラットのみ肺腫瘍が認められた。これは、ラットの肺クリアランスメカニズムの過負荷 (オーバーロード現象) によるものと推測される。(*3)
本製品の通常使用時には、過剰な二酸化チタンの吸入は発生しない。また、呼吸器の疾病と二酸化チタンの作業暴露との関係は、これまでの疫学調査で認められなかった。

生殖毒性

成分に関する情報 : 生殖毒性物質 (MAK, California Proposition 65, TRGS 905, CLP Annex VI に記載の生殖毒性を有する物質) を含まない。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : データなし

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : データなし

誤えん有害性 : データなし

慢性毒性 : ラットを用いたトナーの慢性吸入ばく露試験において、高濃度 (16mg/m³)、中濃度 (4mg/m³) の暴露環境にさらされた群で、肺に軽度の線維症が観察されたが、低濃度 (1mg/m³) では肺に特別な変化は認められなかった。(*1)
通常の機器使用時の環境濃度は、上記濃度 (1mg/m³) を下回っている。

その他 : データなし

12. 環境影響情報

生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壌中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし
他の有害影響	: 特になし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法	: トナーまたはトナーの入った容器及びユニットは、火中に投じないこと。 火花が飛び散り、火傷の原因となることがある。 廃掃法及び / または条例にしたがって処理すること。 トナーカートリッジの資源の再利用のために、回収にご協力願います。 詳しくは当社のホームページをご覧ください。
------	--

14. 輸送上の注意

国連番号 (UN No.)	: 該当しない
国連輸送品名	: 該当しない
国連分類	: 該当しない
国連容器等級	: 該当しない
海洋汚染物質	: 該当しない
MALPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送	: 該当なし
特別の安全対策	: 特になし

15. 適用法令

<日本>

労働安全衛生法 (2016/6/1 施行)

表示対象物質	: 酸化鉄、固形パラフィン (ワックス)
通知対象物質	: 酸化鉄、固形パラフィン (ワックス)、酸化チタン (IV)、 すず及びその化合物 (無機スズ化合物)、 無機マンガン化合物 (マグネタイト不純物: < 1 %)
特定化学物質	: 該当なし

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	: 該当しない
毒性及び劇物取締法	: 該当しない
消防法	: 指定可燃物 (合成樹脂類) ただし 3000kg 以上

16. その他の情報

ここに記載された情報は、当社の最善の知見に基づくものですが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

略語・頭文字

GHS	: Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals
CAS	: Chemical Abstracts Service
ACGIH	: American Conference of Governmental Industrial Hygienists 2016 TLVs and Bels (Threshold Limit Values for Chemical Substances and Physical Agents and Biological Exposure Indices)
OSHA	: Occupational Safety and Health Administration(29 CFR Part 1910 Subpart Z) (US)
TWA	: Time Weighted Average
TLV	: Threshold Limit Values
PEL	: Permissible Exposure Limits
UN	: United Nations
IARC	: International Agency for Research on Cancer (IARC Monographs on the Evaluation of the Carcinogenic Risk of Chemicals to Humans)
EPA	: Environmental Protection Agency(Integrated Risk Information System)(US)
NTP	: National Toxicology Program (Report on Carcinogens)(US)
MAK	: Maximale Arbeitsplatz-Konzentrationen(List of MAK and BAT Values 2011) (DFG : Deutsche Forschungsgemeinschaft)
Proposition 65	: California, Safe Drinking Water and Toxic Enforcement Act of 1986
TRGS905	: Technische Regeln für Gefahrstoffe(Deutschland)
CLP	: Regulation(EC) No 1272/2008 on classification, labelling and packaging of Substances and mixtures (EU CLP 規則)
化審法	: 化学物質の審査および製造等に関する法律
安衛法	: 労働安全衛生法
廃掃法	: 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

参考文献

- (*1) Pulmonary Response to Toner upon Chronic Inhalation Exposure in Rats H.Muhle et.al Fundamental and Applied Toxicology 17.280-299(1991)
Lung Clearance and Retention of Toner, Utilizing a Tracer Technique, during Chronic Inhalation Exposure in Rats B.Bellmann Fundamental and Applied Toxicology 17.300-313(1991)
- (*2) IARC Monograph on the Evaluation of the Carcinogenic Risk of Chemicals to Humans, Vol.93
- (*3) NIOSH CURRENT INTELLIGENCE BULLETIN "Evaluation of Health Hazard and Recommendation for Occupational Exposure to Titanium Dioxide DRAFT"
- (*4) Office Equipment: Design, Indoor Air Emissions, and Pollution Prevention Opportunities, EPA-600/R-95-
- (*5) 粉じん爆発の防止対策 :p98-105 (中央労働災害防止協会)
JISZ7252:2019
JISZ7253:2019

商標について

その他、本使用説明書中に記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中にはTM および® は明記していません。

Copyright Fujitsu Limited 2023

ページプリンタ XL-8400 セーフティガイド

B5WY-1831-01-00

発行日 2023年11月
発行責任 富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。